

大阪市都心部方言のアスペクト

鏑木 昌博

I. はじめに

- (1) 調査対象地：大阪市中央区久宝寺町。同区龍造寺町。両町は市内中心部の商業地域で、上町台地の最高地点の当たる。
- (2) 調査年月日時：1993年12月22日（水）午後2時～4時
1994年1月13日（木）午後6時～8時
- (3) 話者：氏家由起子 昭和3年1月27日生（65歳） 主婦
鏑木仁彦 昭和7年1月1日生（62歳） 会社員
中上宣章 昭和41年1月5日生（27歳） 公務員
- (4) 調査者・調査場所：鏑木昌博、調査者宅
- (5) 調査方法：「方言資料叢刊 第4巻 調査要綱」に基づく面接調査
- (6) 表記方法：回答事象は、老年層と若年層の回答が違ふ場合のみ、それぞれ<老><若>を記した。回答事象の前の△は提示して得られたものであることを示す。話者による説明は、（ ）に入れて記した。なお、文末詞は必要なもの以外捨象した。

II. 調査結果

1. (昔は) よく行ったものだね ①「ヨ」ー「イットッ」タ<老>/②「ヨ」ー「イッ」タ/
2. (あのころは) おもしろかったなあ ①「オモシロ」カッタ/②「オモロ」カッタ<若>
3. (もうちょっとで) 落ちるところだった ①オチル「ト」コヤッタ/②オチ「ソ」ーヤッタ
4. (今にも) 落ちそうだよ ①オチ「ソ」ーヤ/②オチ「ル」テ<老>
5. (財布を) 落として ①「オトシテシ」モテ/②「オトシテモ」ーテ/③「オ」トシテ (いずれも言えるが、①が一番多い)
6. 困っている ①「コマッテン」ネン(「コマッテル」)
7. (一本の蠟燭が今にも) 消えそうだよ ①「キエソ」ーヤ/②「キエカケテル」/③「キエル<若>
8. (今) 消えようとする ①「キエソ」ー/②モー「キエル<若> (7と8の差はあまりない)
9. (完全に) 消えた ①「キエテシ」モタ/②「キエテモ」タ<若>/③「キ」エタ<若> (老年層では②の言い方はしない)

10. (すでに) 消えていたよ ①「キエテ」タ<老>/②「キエトッ」タ<若> (②は老年層ではあまり言わない)
11. (何本もの蝋燭が順に) 消え始めた ①「キエテイク
12. (何本もの蝋燭が次々) 消えていくなあ ①「キエテイク
13. (何本もの蝋燭が順に) 消えているよ ①「キエテイク (11. 12. 13の違いはほとんどない)
14. (何本もの蝋燭の火が全部) 消えているよ ①「キエテシモテル
15. (何本もの蝋燭の火を次々) 消しているよ ①「ケシテイッテル/②「ケシテル
16. (もう全部) 消しているか ①「ケシテ」ア「ル/②「ケシタ」ール
17. (今にも) 桜が散りそうだ ①「チリソ」ーヤ
18. (ちらほらと) 散り始めた ①「チリカ」ケタ
19. (今現に) 散っている ①「チッテル
20. (桜の木がすっかり) 散っている ①「チッテシモテル
21. (地面一面に) 散っている ①「チッテシモテル/②「チッテモーター<若> (老年層では②の言い方はしない)
22. 今にも降りそうだ ①フリ「ソ」ーヤ
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ ①フリ「ソ」ーヤッタ
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ ①フッ「テ」タ/②フッ「トッ」タ<若> (②は老年層ではあまり言わない)
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ ①「アケカケテ」タ
26. (来年の今ごろは家を) 建てている ①タテテ「ル
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている ①「イ」エ タッテ「ル (老若ともに「家が」という言い方しかない)
28. (あの家はよく) 磨いてある ①「ミガイタ」ール
30. (隣の犬が) 鳴いている ①「ナイト」ル/②「ナイトル (①は迷惑している感じが出る)
31. (隣の子が) 泣いている ①「ナイトル (普通子供の場合はナイトルとは言わない)
32. (家に) いるかなあ ①「イテル/②「オ」ル<若>
33. (〇〇さん) いるか ①「イテル/②「オ」ル<若>
34. (ああ) いるよ ①「イテル/②「オ」ル<若> (32. 33. 34ともに若年層の②はごく親しい友達の場合)
35. (そういう人も) いるよ ①「イテル/②「オ」ル<若>
36. (あなたは今何を) していたか ①「シテ」タ/②「シトッ」タ<若> (②は老年層ではあまり言わない)
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ①「ミテテ」ン/②「ミテタ」ンヤ/③「ミトッ

- テン<若>/④「ミトッ」タンヤ<若> (③④は老年層ではあまり言わない)
38. (金魚が今にも) 死にそうだ ①「シニソ」ーヤ/②「シニカケテル」
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ ①「シンデ」タ/②「シ」ンダ/③「シンドッ」
「タ<若> (③は老年層ではあまり言わない)
40. 読み始めていた ①ヨミカケ「テ」タ
41. 読み始めたところへ(～た) ヨミカケ「テ」タ
42. 着くと同時に～た ①ツイタ「トタンニ<多>/②ツ「ク」ナリ/③△ツク「カ」
ツカ「ン」カニ
43. 着くと同時に～してくれ ①ツイ「タ」ラ「ス」グニ
44. 鳴り続けている ①「ナリッパナシ<多>/②△「ナリズム(言う時もある)/③
「ナッテル」
45. (先生は今何を) しているか ①「シテハリマス」ノン
46. 好きだ ①「スッ」キャ/②「ス」キヤ (①の方が程度が強い)
47. 見られているのも ①ミラレテ「ン」ノモ<若>/②「ミ」ナ「ミテン」ノニ<老>
(老年層では受け身の言い方が得られなかった。)
48. (今、運動会が) ある ①「ヤッテル」
49. (降らなくて) よかった ①「ヨ」カッタ
50. (先生がこっちへ) 来つつある ①「キハル」
51. (犬がこっちへ) 来つつある ①「キ」ヨル/②ク「ル (①は、自分の飼い犬や人
の飼い犬でも可愛がっている犬の場合)
52. 似ている ①「ニテル」
53. (一週間も前から遊びに) 来ている ①「キテル/②「キテ」ヤル<老女>
54. (昔から) 苦労していない ①「ク」ロー「シテ」ヘン
55. (今は) あまり苦労しないでいる ①「ク」ロー「シテ」ヘン
56. ～は売っているが、～は売っていない ①「タバコワウッテル」ケド 「フ」クワ
「ウッテ」ヘン
57. (昔からタバコを) 売っている ①「ウッテル」
58. (今、大売出して衣料品を) 売っている ①「ウッテル」
59. (もう三回) 来ている ①「キテル/②「キ」タコトア「ル (①も言えるが、②が
普通)
60. (いつも) 来ている ①「キテル」
61. (昔はいつも) 来ていた ①「キテ」テン/②「キトッ」テン<若> (②は老年層
はあまり言わない)
62. (前に一度) 行っている ①「イッテル/②「イッタ」コトア「ル (①も言えるが、

②が普通)

63. 先に行っておいてほしい ①「イットイテ／②「イッテテ／③「イキカケトイテ
64. 待っていないさい ①マツト「キ／②マツテ「テ<老>
65. (外に)待たせてあるよ ①マタセテ「ル／②△マタセ「タ」ール<老>
66. 食べておいてくれ ①タベトイ「テ／②タベテ「テ<老>
67. (昔と)違っている ①「チャウ
68. (昔は今のと)違っていた ①「チャウ」カッタ
69. (毎日梅干しを)食べている ①タベテ「ル
70. (毎朝)している ①「シテル
71. 気をつけていて(～した) ①ツケテ「ン」ノニ／②ツケ「テ」テ
72. 行ったまま～ ①「イッ」タママ／②「イッ」タ「マンマ／③△「イッ」タキリ<若>
73. ～しながら ①「シナガラ／②「シモッテ(古い感じ)
74. ～の途中で～する ①「イキシナニ
75. ～の途中で～した ①「イキシナニ／②「イクミチデ
76. ～の途中で止めて～した ①ヨミサシ「デ／②ヨミカケ「デ
77. ～したばかりだ ①ヨンダ「ト」コ
78. 無くなっている ①「ナクナッテル／②ナイ「ヨ」ーナッテ「ル
79. 無くなるぞ ①「ナクナル／②「ナクナッテマウ
80. 掛けておいた帽子 ①カケ「テ」アッ「タ／②△カケ「ト」イタ<若>
81. 並んだ本 ①「ナランデル／②「ナランダ」ール
82. 並べた本 ①「ナラベタ」ール
83. ～しておこうか(読んでおこうか) ①ヨンドコ「カ(ヨンド「ク)／②ヨンデ「シモトク<若>
84. やってあるか ①「ヤッタ」ール／②「ヤッテシ」モタ／③「ヤッ」タ
85. 壊している ①「コワシテル
86. 壊れている ①「コワレテル
87. 壊されている ①「コワサレテル
88. のけてある ①ドケ「タ」ール／②ドケ「テ」ア「ル
89. 書き終わった ①カ「ケ」タ(普通はこれが多い)／②カキ「オ」ワッタ(強いて丁寧に言うなら)
90. 書いてしまいなさい ①カイト「シマ」エ／②カイト「マ」エ<若>／③カキ「ナ」サイ
91. 書いてしまう ①カイト「シマウ／②カイト「マウ<若>(老年層も言わないことはない)

92. 書いてみた ①カイト「ミ」タ
93. (孫は今)入院している ①「ニューインシテマス
94. (弟も今)入院しているそうだ ①「ニューインシテルラ」シー
95. (きっと)よくなるよ ①「ヨーナッテイク<老>/②「ヨーナッテ」ク「ル<若>
96. (だんだん)よくなるよ ①「ヨーナッテイク<老>/②「ヨーナッテ」ク「ル<若> (老年層の説明では、他人に言うときには～イク、自分の場合は～クルと使い分けられているとのことである。若年層では、～イクとはあまり言わないらしい)
97. 歳とるとね ①トッ「テ」クル「ト
98. なおらなくなるよ ①(「ナオラナ」ク)ナッ「テ」ク「ル
99. (1) (犬が)怪我したので 怪我しヨッタと言う。(老若とも)
 (2) (こどもが)怪我したので 怪我しヨッタと言う。(老若とも)
 (3) (お父さんが)怪我したので 怪我しヨッタとは言わない。(老若とも)
 (4) (雨が)降ってきたので 降ってきヨッタののでは普通言わない。(迷惑な場合は言うときもある。)
100. (1)「雨が降りつつある」は、B「今、ぼつぼつ降り始めた」状態<老>
 「雨が降りつつある」は、A「今にも降りそうな」状態もしくはAとBの間<若>
 (2)「貯金が増えつつある」は、A「貯金が少しずつ増えようとしている」状態(老若とも)
 (3)「貯金を増やしつつある」はB「増やそうとして少し貯金をし始めた」状態<老>
 「貯金を増やしつつある」はA「増やそうと計画している段階」<若>(Bの場合で言うこともある)

III. 総括(まとめ)

調査結果は以上であるが、調査を終えて気付いた点をいくつか挙げてみたいと思う。

(1)共通語と比較して

当該方言のアスペクトを共通語のそれと比較してみると、次のようなことが言えるであろう。

- ・共通語の「～ている」は当該方言では「～テル」である。
- ・共通語の「～である」は当該方言では「～テアル」である場合もあるが、「～タール」となることが多い。
- ・動作が完了しているときに使われる「～テシマウ」の出現頻度が高い。

(2)老若を比較して

調査人数が少ないので確実なことは言えないが、本調査結果において老若の比較から言

えることをいくつか挙げておく。

- ・完了を表す「～テシマウ」は、老年層では「～テシマウ」（「～テシモタ」）が多いが、若年層では「～テマウ」（「～テモタ」）と言うことがある。この傾向は、5.（財布を）落として、9.（完全に）消えた、21.（地面一面に）散っている、90.書いてしまいなさい、91.書いてしまう、において顕著である。老年層話者にとって「～テマウ」という言い方はぞんざいな感じがするらしく、あまり使われていない。
- ・共通語の「～ていた」にあたる「～テタ」という言い方を、若年層では「～トッタ」と言うことがある。この傾向は、10.（すでに）消えていたよ、24.（あの時は実際にもう雨が）降っていたよ、37.（私は今金魚を）見ていたよ、39.（やっぱり金魚は）死んでいたよ、61.（昔はいつも）来ていた、において顕著である。「～テシマウ」の場合と同じように、「～トッタ」という言い方は、老年層話者にとってはぞんざいな感じがするらしく、使われることはほとんどない。これは、「～トル」とが「～ヨル」と同様、卑罵意現として用いられることによる抵抗感であろう。そのため、若年層でも、現在形の「～トル」はほとんど使われない。
- ・95.（きっと）よくなるよ、96.（だんだん）よくなるよ、97. 歳とるとね、98. なおらなくなるよ、の一連の「～テイク」（遠のき）か「～テクル」（近づき）かの項目では、老年層が自分のことをいう時「～テクル」と言う以外は、「～テイク」であると説明しているのに対し、若年層は「～テクル」しか言わないという結果が出た。これだけ見ると、年層差のように見えるが、筆者の実感では個人差が大きいようにも思われる。
- ・100. つつある、については、老年層がその動作が始まりかけた状態であると認識しているのに対し、若年層はそれより前の、動作が始まる以前の状態であると認識している、という結果が出た。これも、多人数調査によらないとはっきりしたことはわからないが、個人差があるものの、そういう傾向があるようにも思われる。

（かぶらぎまさひろ 大阪市立此花工業高等学校）